

**製品名: CD84 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08470**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | ウサギポリクローナル抗体                                       |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,IHC,ICC/IF,ELISA                                |
| 反応性    | ヒト、マウス   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | ポリクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 1mg/ml   |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。   |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |   |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000 |
| 分子量  | 39kDa   |

**抗原情報**

|              |  |
|--------------|--|
| 遺伝子名         | CD84   |
| 別名           | CD84; SLAMF5; SLAM family member 5; Cell surface antigen MAX.3; Hly9-beta; Leukocyte differentiation antigen CD84; Signaling lymphocytic activation molecule 5; CD84 |
| 遺伝子 ID       | 8832.0   |
| SwissProt ID | Q9UIB8   |
| 免疫原          | 抗血清はヒト CD84 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 131-180  |

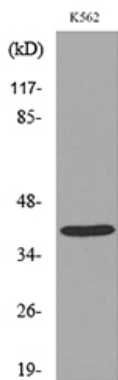
**背景**

この遺伝子は、シグナル伝達リンパ球活性化分子 (SLAM) ファミリーのメンバーである膜糖タンパク質をコードしています。このファミリーは、より大規模な CD2 細胞表面受容体 Ig スーパーファミリーのサブセットを形成しています。コードされているタンパク質は、多くの免疫細胞種で発現し、それらの細胞における受容体を介したシグナル伝達の調節に関与する同種親和性接着分子です。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2011 年 10 月]、発生段階: ナイーブ B 細胞では、最初の分裂後に発現がわずかに増加します。対照的に、記憶 B 細胞では、その後の分裂ごとに発現が減少します。、ドメイン: ITSM (免疫受容体チロシンスイッチモチーフ) モチーフは、SH2D1A に結合する可能性のある細胞質モチーフです。、機能: 同種親和性相互作用およびクラスター形成によって接着受容体として機能する役割を果たします。SH2 ドメイン含有タンパク質 SH2D1A/SAP をリクルートします。活性化 T 細胞の増殖反応を増加させますが、SH2D1A/SAP はこのプロセスには必要ないようです。同種親和性相互作用により、リンパ球におけるインターフェロン  $\gamma$ /IFNG 分泌が促進され、SH2D1A/SAP 依存性経路を介して血小板刺激が誘導されます。造血前駆細胞のマーカーとして機能する可能性があります。、PTM:N-グリコシル化されています。、PTM:アゴニストモノクローナル抗体によるライゲーション誘導後、チロシンタンパク質キナーゼ LCK によってチロシン残基がリン酸化されます。SH2D1A/SAP との結合は、細胞質ドメインのチロシンリン酸化に依存します。血小板凝集後、Tyr-296 および Tyr-316 がリン酸化されます。、類似性:Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを 1 つ含みます。、サブユニット:ホモダイマー;細胞外ドメインを介して。他の細胞由来の CD48 分子と頭尾二量体を形成する。SH2 ドメイン含有タンパク質 SH2D1A/SAP および SH2D1B/hEAT-2 と相互作用する。リン酸化細胞質ドメインを介してチロシンタンパク質ホスファターゼ PTPN6 および PTPN11 と相互作用するが、この相互作用は SH2D1A によって阻害される。、組織特異性:リンパ節、脾臓、末梢白血球などの造血組織で主に発現する。マクロファージ、B 細胞、単球、血小板、胸腺細胞、T 細胞、樹状細胞でも発現する。メモリー T 細胞で高発現する。、

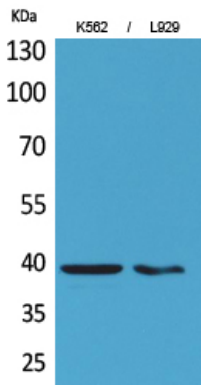
## 研究分野

オートファジー

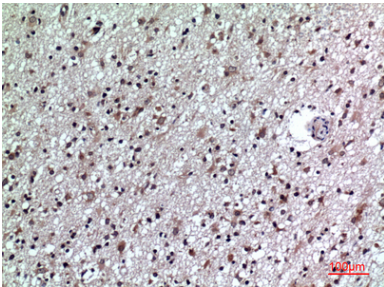
## 画像データ



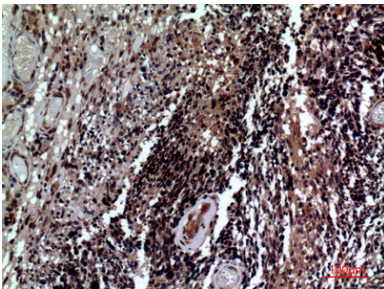
CD84 抗体を使用した K562 細胞の溶解液のウエスタン ブロット分析。



CD84 ポリクローナル抗体を用いた K562、L929 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された